



んがつながら 創りだす 新しい阿蘇
～ ONLY ONE の世界へ～

阿蘇市

阿蘇地域唯一のがん拠点病院
～多職種の関わりについて～

阿蘇医療センターの紹介

【基本理念】

本院は、地域の中核病院として、地域の医療機関や関連施設等と連携を図りながら、患者の視点に立った医療の提供を実践し、地域住民の健康維持と福祉の向上に貢献する

➤病床数：124床 （一般120床:うち包括21床）（感染症4床）

➤診療科

内科,循環器内科,脳神経外科,小児科,消化器外科,整形外科,リハビリテーション科

歯科口腔外科,糖尿病・代謝内分泌内科,血液内科,腎臓内科

乳腺内分泌外科,消化器内科,腫瘍内科,脳神経内科

リウマチ膠原病内科,呼吸器内科,小児科専門外来,耳鼻咽喉科,婦人科

➤外来化学療法室：看護師1名

認定看護師：5名

感染管理認定看護師：2名

がん化学療法看護認定看護師：1名

認知症看護認定看護師：2名

日本緩和医療学会暫定指導医 1名（非常勤）

がん化学療法看護認定看護師 1名

がん相談員研修修了 7名

緩和ケアチーム研修修了 4名

がん登録実務初級 1名

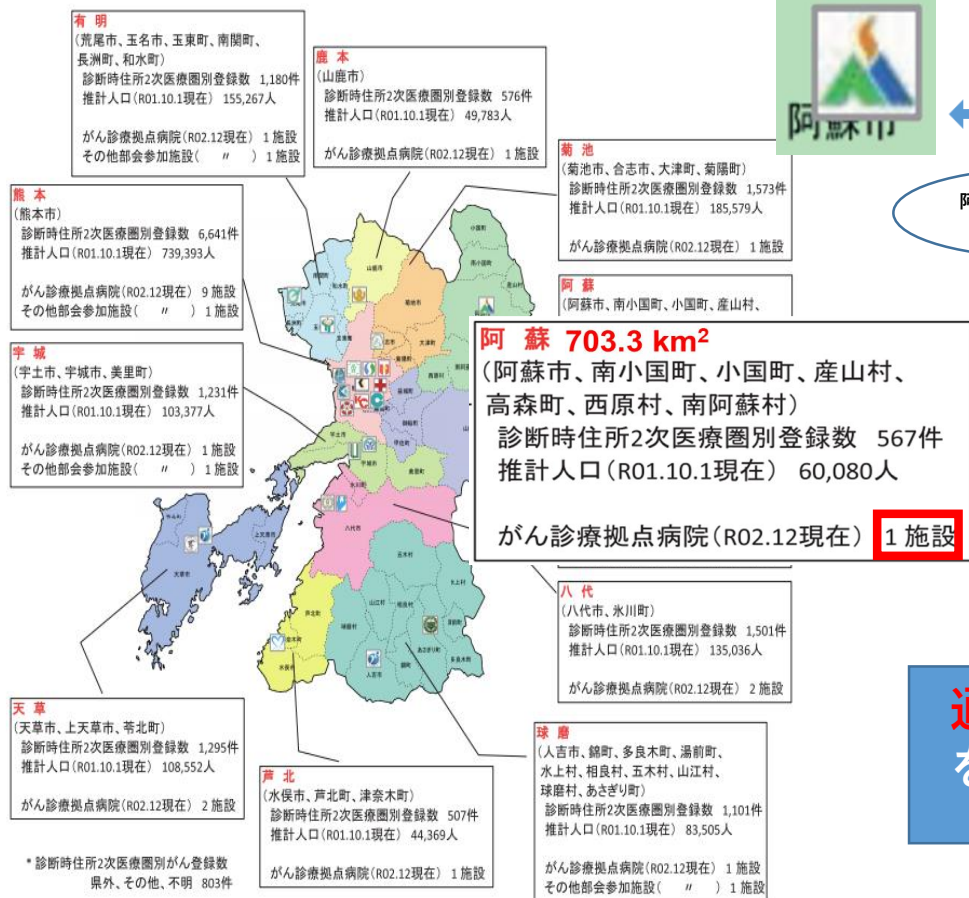
がん医療ネットワークシニアナビゲーター 1名

令和3年9月現在

阿蘇地域におけるがんの緩和ケア

当院は阿蘇地域唯一のがん診療拠点病院である

高次医療機関とも連携し、がん治療を提供している



例えば・・・
手術は高次医療機関で
化学療法・経過観察は当院で

通院の負担や治療の格差を減らすことができる！

がん相談支援センターの活動

がん相談支援センターとは…

- ・がん治療に関する情報を知りたい
- ・医療費ってどれくらいかかるの？
- ・これからの生活をどうしよう…



相談員がなんでもお話伺います！

当院がん相談支援センターの目標

- ・がんに対する正しい情報を伝えることができる
- ・その人らしい生活や治療の選択ができる
- ・今後の行動への方向性を明確にできる



患者様が
『自分らしい生き方』を
できるよう意思決定を支え
患者様のニーズに合った
情報提供ができる。

当院に寄せられた
主な相談内容の例
多種多様に対応しています

- ・がん治療
- ・がん検査
- ・症状・副作用・後遺症
- ・セカンドオピニオン
- ・受診方法・入院・転院
- ・医療機関の紹介
- ・社会生活（就労・就学等）
- ・医療費・社会保障制度
- ・精神的苦痛・告知後のケア
- ・介護・看護・養育
- ・食事・服薬・入浴・運動
- ・生きがい・価値観
- ・在宅医療
- ・ホスピス・緩和ケア 等

お気軽にご相談ください 😊



当院がん相談支援センター スタッフメンバー

医師若干名・歯科医師1名・看護師2名
管理栄養士1名・社会福祉士1名
その他必要な職員

がん患者さんの口腔の特徴とその管理

手術するときは？

オーラル
マネジメント

Point !

手術などの**治療開始前**に
歯科を受診！！

術後、**絶食**が続くと・・・

口の中は**カピカピ**に (> <)

※術前に歯科を受診する
ことで**口腔環境の整備**を
しよう！

具体的には・・・

- ・ 歯科治療・歯面清掃
- ・ 歯石除去・歯磨き指導



まずはきれいに

絶食時は口腔ケアの回数増やそう！

歯科口腔外科スタッフの関わり

Point !

コロナ禍における
当院**オリジナル**の標準予防策

コロナ前も
標準予防策
バッチリ！

アイシールド

サージカルマスク

アームカバー

※アームカバーのみ
新型コロナ後着用開始
青枠は以前から着用し
感染対策バッチリ！



ビニール
エプロン

グローブ

消毒用アルコールも
常備しています！



歯科口腔外科の
受診の様子です



歯科口腔外科スタッフ
歯科医師1名 看護師2名

終末期がん治療のときは？

ターミナル期に**口腔乾燥**
はほぼ**必発**！

Point !

終末期患者様の**90%以上**が
なんらかの**不快症状**がある！

☆終末期患者の口腔トラブル

身体的苦痛：感染症・口腔内の痛み
精神的苦痛：味覚異常・摂取量低下
→食べる楽しみが減る

社会的苦痛：口臭・**口腔乾燥**

→会話できない・疎外感

口の中だけでなくQOL低下につながる！

保湿（潤いを保つ）がとっても大事！
＝口腔を適度な湿潤環境に保つこと

保湿の方程式

= **加湿** + **蒸発予防**

スプレーは効果的

過剰なうがいは逆効果

**ジェルは
薄く塗る！**

**口腔ケアで
QOLの向上を！**



栄養管理室の取り組み

食事が食べれない時の対応について

当院では、患者様の嗜好対応の他、治療による様々な**副作用に対しても**患者様とお話ししながら対応を行っています。

食事の量を食べきれない量へ調整し、下記のような**栄養補助食品**も利用しています。退院後も利用を希望される場合は購入のご案内も行っています。

栄養の強化（栄養補助食品の利用）

「食事の量が減っている」「食べられない」時には摂取する栄養量が少なくなるため、体力や免疫力が低くなってしまいます。少ない量で多くの栄養を補給できる栄養補助食品を食事や間食に利用することで、栄養量の減少を防ぎ栄養を強化することができます。



当院で使用している
栄養補助食品を
ご紹介します



ファインケア



クリミール



エンジョイゼリー



アイオールソフト



カロリーメイトゼリー



パワミナゼリー

※他にも様々なタイプの栄養補助食品があるので自分に合ったものを選ぶことができます

緩和ケア(終末期)患者の食事について

通常の食事が食べれない場合に、食べたいものを食べて頂けるよう患者様自身にお選びいただく**セレクトメニュー**をご用意しています。

メニュー例

◆セットメニュー

おにぎりセット（おにぎり、梅干し、味噌汁）

お粥セット（全粥、梅干し、味噌汁）

パンセット（パン、ジャム、スープ）

◆単品メニュー

牛乳、りんごジュース、豆乳などのドリンク類

プリン、果物盛り合わせ、おはぎなどの甘味類

肉まん、卵豆腐、サラダ、納豆などのおかず類

上記のメニューを自由に組み合わせることが出来ます



薬剤師と一緒に緩和治療しませんか？

下記症状はお薬で軽減、
改善できる場合があります

- ・痛み
- ・吐き気
- ・便秘
- ・不眠
- ・倦怠感 など

色んな症状を
我慢していま
せんか？

我慢せずに
一度ご相談
ください

薬剤師が症状に
合わせたお薬を
考えます！



お薬の例

痛みに使うお薬はいろいろな
形があります

飲み薬



貼り薬



注射薬



体の状態に合わせてお薬の形を変えます

在宅でも注射のお薬が使えます

(在宅で使用する注射機器)



在宅医療サポートセンター

 「あそ在宅医療サポートセンター」とは・・・

地域の関係機関と協力しながら在宅医療を中心とした拠点として、阿蘇郡市内に3か所設置しています。看護師や社会福祉士などの資格を持った相談員が、入退院調整や訪問診療に関すること、急変時、看取りに関することなど、在宅医療に関する相談対応を行います。

退院後にご自宅での療養や介護を希望されながら、病状の悪化などのご不安に対し、お話を聞き情報をお届けします。

 こんな「どうしたらいい？」はありませんか？

訪問診療や往診を行っている医師が見つからない
退院後の在宅療養の準備を聞きたい

自宅で点滴を
してほしい

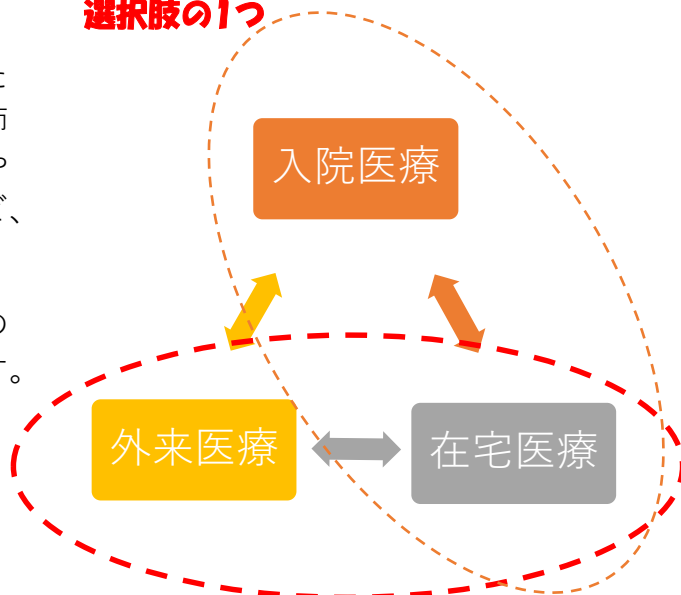
病院に
行けない

食事が
とれない

介護を
休みたい

ご相談ください！

**在宅療養はこれからのがん治療における
選択肢の1つ**



阿蘇中部地域在宅医療サポートセンター
〒869-2225 阿蘇市黒川1266
阿蘇医療センター内

☎ 0967-34-0311

☎ 0967-34-2273

✉ yamakaku-t@aso-mc.jp

外来・病棟看護部

私たちは**その人らしさ**を尊重したケアを大切にしています

限りある生を支えて、その人がその人らしく過ごせるように、日々、声かけし、ご希望を聞きながら、大切にしている事を尊重し日常的にケアに組み込むことを考えて行っています

受け持ち看護師を中心に緩和ケア担当看護師、ほか多職種とチームを組んで週一回、緩和ケアチームカンファレンスを行っています。患者様やご家族のつらさに向き合い、少しでも和らげる事ができることを目指して取り組んでいます



疼痛コントロール

- ・痛みの評価表を使って患者様の痛みの程度をできるだけ正確に医療者に伝えていただくようにしています

内服薬や貼付薬、また持続皮下注射などによる痛みの緩和

倦怠感（体のきつさ）を和らげるケア

- ・リラクゼーションマッサージ、内服薬や持続皮下注射での睡眠の確保

ご本人やご家族のこころのケア

- ・気持ちの支えになるようにお話を伺いながら、療養環境を整えたり、経済的な

心配などあれば社会資源の紹介などがん相談員と連携して対応します

日常生活全般のケア

- ・食事、排泄、入浴などの援助

ご希望に応じてホスピスや在宅療養への移行など

病棟ラウンジから見える阿蘇山の眺めは気持ちをなごませてくれます



リハビリテーション

当院ではがん患者様の生活機能と生活の質(QOL)の改善を目的に患者様の希望、要望を尊重しながら身体状況に合わせてリハビリを行っています。

歩行訓練の様子



一人一人の訓練目標に合わせて組み合わせます！

リハビリテーションプログラム

身体症状

- ・浮腫（むくみ）
- ・倦怠感（だるさ）
- ・痛み
- ・歩行困難

起き上がり困難 等



- ・可動域訓練
- ・筋力訓練
- ・床上動作訓練
- ・歩行訓練
- ・リンパマッサージ 等

緩和ケアにおけるリハビリテーション

目的：症状緩和！



自宅復帰に備えて

- ・残存機能を維持できるADLの拡大
- ・移動能力の向上
- ・自宅環境や介護面でのアドバイスをしています！

日常生活動作

エルゴメーターで
有酸素運動の
リハビリ中！



多職種とのカンファレンス
で情報共有もしています